

アオサギ観察会

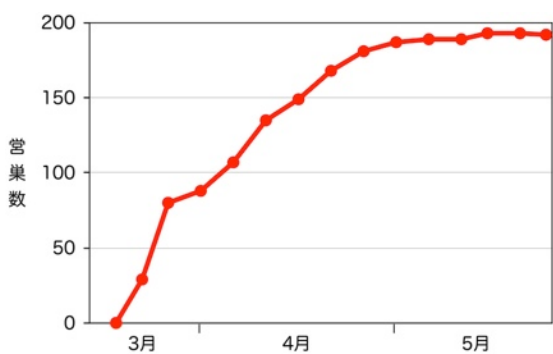
2014年5月31日

江別コロニーはこんなところ

現在、北海道には80ヶ所前後のアオサギコロニーがあります。それぞれのコロニーはひとつがいでだけで営巣しているところから500つがいを超える大所帯までさまざま。その中でも江別コロニーは比較的大規模な部



類に入ります。今シーズン、江別では約190つがいが子育てを行っています。木々が芽吹いてくるとアオサギの姿はぱらぱらとしか目に入りません。しかし、じつはたくさんの巣が緑の奥に隠れているのです。



江別コロニーにおける営巣数の季節変化 (2014年)

北海道のアオサギは渡り鳥で、江別には3月半ばにやってくる (毎年、十数羽はコロニーから数百メートル下流で越冬しています)。左の図は春先の江別コロニーの営巣数の変化を示したのですが、これを見ると3月から4月下旬にかけ、いくつもの小規模の群れが順次コロニーに到着しているのが分かります。少しずつ少しずつ、人知れぬ間に彼らは渡ってくるのです。

江別のアオサギの子育てスケジュール

3月	4月	5月	6月	7月	8月
求愛・ 巣づくり期	抱卵期	育雛 前期	育雛 後期	巣立ち期	

(注) 育雛前期：片方の親鳥が巣に留まる。育雛後期：両方の親鳥とも巣を離れる。

そして渡って来たサギたちは、3月下旬には巣をつくりはじめます。ただ渡り時期がそれぞれ異なるため、その後の子育てスケジュールは個々の巣でまちまちです。5月末ともなれば、早くから営巣を始めたところはヒナが

すでに大きく、今後はヒナたちだけで留守番をする巣が増えてきます。一方、遅く始めたところは小さなヒナに親が付っきり。もしかすると、まだ卵を温めているところもあるかもしれません。



ところで、渡りはアオサギの齢によっても異なります。若いアオサギは越冬地でのんびり過ごし、繁殖地にはずいぶん遅く到着します。他のつがいにヒナが誕生しはじめた頃、ようやく巣作りを始めるのです。写真はつい2週間ほど前にここでできたカップル。左の白黒はっきりしたのが成鳥で、右の灰色っぽいのが昨年生まれの幼鳥です。今シーズン、江別コロニーではこんな異色ペアが2組できました。今日の観察会では彼らの姿を確認できるでしょうか？